

(1)事業の概要等

事業番号	B2302-3
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき応援寄附金推進事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	平成25年度	～	令和7年度以降		担当課			商工振興課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	23	展開方向	2	担当係			新産業創出係		
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	こまき応援寄附金推進事業実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	ふるさと納税制度を活用し、市への寄附者に対し市ゆかりのお礼の品を提供することにより、市内産業の活性化、市や特産品のPR、財源確保を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内事業者、市の歳入										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 寄附の増加を図るため、積極的な事業者への訪問や連携等を行い、お礼の品はR3より125品増えて378品となった。 また、寄附の受付窓口となるポータルサイトは4サイトを追加し10サイトとなった。 その他、お礼の品充実に向けた事業者向けセミナーの開催、委託事業者によるお礼の品の撮影とポータルサイトのお礼の品ページの充実、6月より概ね週1回のインスタグラムによる情報発信の充実等に取り組んだ。</p> <p>●直接経費(令和4年度) 旅費 132,440円 消耗品費 470,160,311円 通信運搬費 6,359,455円 手数料 127,225,868円 委託料 65,257,924円 使用料 204,600円</p> <p>●直接経費(令和5年度) 旅費 100千円 消耗品費 352,610千円 通信運搬費 7,290千円 手数料 122,734千円 委託料 52,130千円 使用料 231千円</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	414,563	507,176
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	506,115	596,141	
			計(A)	千円	414,563	507,176	614,390	669,340	
			対前年比	%	—	122.3%	121.1%	108.9%	
			予算額	千円	512,666	611,024	736,141	802,526	535,095
人件費			正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
			正規職員(平均賃金)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	
			その他職員	人	1.00	1.00	1.00	1.50	
			その他職員(時給×時間)	千円	1,559	1,528	1,528	1,588	
			計(B)	千円	9,045	9,014	9,014	9,074	
			事業費合計(C=A+B)	千円	423,608	516,190	623,404	678,414	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	23	展開方向			2
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1								
2								
3								

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	寄附件数	件	目標	—	—	—	—	—
				実績	35,634	38,041	47,479	56,088	
	寄附額 (法人含む)	千円	目標	300,000	600,000	800,000	800,000	1,000,000	
			実績	995,840	1,057,937	1,319,330	1,325,815		
	活動指標	お礼の品数	品	目標	—	—	300	500	500
				実績	87	152	253	378	
		ポータルサイト 数	サイト	目標	2	4	6	10	12
				実績	2	4	6	10	
	単 位 事 業 費 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
受益者あたり事業費 (=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業 の 評 価	事業の方向性	拡 大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの					
	事業の達成状況と課題	<p>令和4年度については、引き続き前年度比で寄附額の増加を達成した。主な要因としては事業者への訪問と連携によりお礼の品の充実を図ったこと、受付ポータルサイトの拡充や内容の充実を行ったことが考えられる。一方でふるさと納税制度の認知度が上がるとともに、自治体間の競争は年々激化しており、今後も寄附額の増加を継続できるかは不透明な状況にある。本中事業は、市外からの寄附に伴うお礼の品代やポータルサイト手数料であり、予算額は寄附額に比例する。今後も引き続き必要な予算を支出しながら寄附額の向上と市内産業の活性化を目指す必要がある。</p>						
	今後の実施内容	<p>引き続き、事業者への積極的な訪問や連携により参加事業者やお礼の品数の増加に取り組むとともに、受付ポータルサイトや情報発信の充実や職員のノウハウ向上等に取り組む。</p>						
	事務事業評価による額	0	千円	節		細節		細々節